

知床の窓から見えるもの

2019年12月7日(土)

初めまして、診療所看護師です。

元々羅臼に住んでいた私は、看護師免許を取得後、大きな病院に勤めていましたが、出産に伴い羅臼に帰ってきました。地元の患者様から、「あんた羅臼の人？あーどここの孫さん(娘さん)ね」と声をかけられることが多く、自分から声をかけることが苦手な私にとって有り難いことでした。羅臼の患者様はあたたかく、情熱を持っている患者様が多い印象でした。

海の向こうに国後島が見えると「ああ帰ってきたんだな」という安心感がありました。流氷で真っ白になると、オオワシが氷の上に乗ったり、夜になると、家の中に居ても、ふくろうの音が聞こえたりと、自然いっぱいの羅臼で、恵まれた環境で育ったのだと思います。都会ではできない貴重な体験を子どものうちにできて良かったなあと思います。ただし、熊だけは勘弁ですが…笑

北海道で観光するならどこが良い？と聞かれたら「羅臼ですよ」と宣伝します。

